

主な変更箇所一覧

ページ	現行の総合戦略	改定案	改定の理由
目次 7 9	戦略目標① <産業・雇用>	戦略目標① <u>いきいきと働ける「しごと」づくり</u> <産業・雇用>	国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を勘案して修正
目次 7 15	戦略目標② <子育て・教育>	戦略目標② <u>未来を支える「ひと」づくり</u> <子育て・教育>	
目次 7 24	戦略目標③ <魅力向上>	戦略目標③ <u>魅力と安心の「まち」づくり</u> <魅力向上>	
1 第2期しあわせ実感かかみがはら総合戦略の策定			
1	新設	<p>(2) 一部改定の趣旨</p> <p>国は、令和4年6月に、デジタルの力の活用により、地域の個性を活かしながら地方の社会課題の解決や、地方活性化を加速することを目的とした「デジタル田園都市国家構想基本方針」を策定した。そして、この方針に基づき、令和4年12月には、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改定し、令和5年度から令和9年度までを計画期間とする「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が策定された。</p> <p>国や県の総合戦略改定を踏まえ、本市においても、現行の第2期総合戦略の中でデジタル技術の活用を意識することで、人口減少対策と地方創生の加速化を図るため、第2期総合戦略の一部改定を行うものである。</p>	今回の改定について趣旨の記載を追加

主な変更箇所一覧

ページ	現行の総合戦略	改定案	改定の理由
1	<p>(3) 策定の基本方針</p> <p>まち・ひと・しごと創生は、施策の方向性や施策・事業の財源など、国と地方が一体となり、中長期的視点に立って取り組む必要があることから、国の「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」や岐阜県の「清流の国ぎふ創生総合戦略」、「各務原市人口ビジョン（以下、「人口ビジョン」という）」を踏まえ、さらにはSociety5.0、SDGsといった新たな視点を加え策定する。</p> <p>また、総合計画前期基本計画に基づくこれまでの取組みや本市における様々な実情を踏まえ、「総合計画後期基本計画」において今後5年間の施策の方向性等を示していること等から、第2期総合戦略は、第1期総合戦略の体系を基礎としつつ、総合計画後期基本計画との整合を図る。</p> <p>さらに、数値目標、重要業績評価指標（KPI：Key Performance Indicator）（以下、「KPI」という）については、第1期総合戦略期間中における達成状況や指標の妥当性等の観点から、項目及び目標数値について必要な見直しを行う。</p>	<p>(3) 目指すべき理想像（地域ビジョン）</p> <p>本市は、県下ナンバーワンを誇る製造業、市民公園や学びの森をはじめとした豊かな自然、河川環境楽園や大型ショッピングモールなどの賑わいのあるスポットなど、様々な魅力を有しており、こうした多様な地域資源を活かしながら、総合戦略に基づき、人口減少・少子高齢化をはじめとした社会課題への対応を着実に推進してきた。</p> <p>しかし、先行きが不透明な時代と言われる中、そうした社会課題はさらに複雑化、多様化している。関係する人、地域など、各主体が個々に対応するのではなく、顔の見える関係を築き、つながりを作っていくこと、そして各施策を連携させていくことが、課題解決の鍵であり、総合計画後期基本計画に全分野共通の方針として掲げる「つながりづくり」は益々重要である。</p> <p>そして、その時々潮流も的確に捉えながら、子育て・教育・福祉・産業・雇用など「まち・ひと・しごと創生」に関する施策がさらにつながること、「ずっと、このまちで」、子どもたちの笑う声が響き、若者が生き生きと学び、働き、高齢者が安心して暮らし、市民一人ひとりが幸せを実感できるまちづくりを進める。</p>	<p>国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を勘案して修正</p>

主な変更箇所一覧

ページ	現行の総合戦略	改定案	改定の理由
3	<p>○国「まち・ひと・しごと創生」政策5原則（第2期）</p> <p>自立性 地方公共団体・民間事業者・個人等の自立につながるような施策に取り組む。</p> <p>将来性 施策が一過性の対症療法にとどまらず、将来に向かって、構造的な問題に積極的に取り組む。</p> <p>地域性 地域の強みや魅力を活かし、その地域の実態に合った施策を、自主的かつ主体的に取り組む。</p> <p>総合性 施策の効果をより高めるため、多様な主体との連携や、他の地域、施策との連携を進めるなど、総合的な施策に取り組む。その上で、限られた財源や時間の中で最大限の効果を上げるため、直接的に支援する施策に取り組む。</p> <p>結果重視 施策の結果を重視するため、明確なP D C Aメカニズムの下に、客観的データに基づく現状分析や将来予測等により短期・中期の具体的な数値目標を設定した上で施策に取り組む。その後、政策効果を客観的な指標により評価し、必要な改善を行う。</p>	削除	国の総合戦略の改定により、旧総合戦略に関する内容を削除

主な変更箇所一覧

ページ	現行の総合戦略	改定案	改定の理由
3	<p>○国「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の枠組み</p> <p>【基本目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする <ul style="list-style-type: none"> - 地域の特性に応じた、生産性が高く、稼ぐ地域の実現 - 安心して働ける環境の実現 2 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる <ul style="list-style-type: none"> - 地方への移住・定着の推進 - 地方とのつながりの構築 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる <ul style="list-style-type: none"> - 結婚・出産・子育てしやすい環境の整備 4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる <ul style="list-style-type: none"> - 活力を生み、安心な生活を実現する環境の確保 <p>【横断的な目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 多様な人材の活躍を推進する <ul style="list-style-type: none"> - 多様なひとびとの活躍による地方創生の推進 - 誰もが活躍する地域社会の推進 2 新しい時代の流れを力にする <ul style="list-style-type: none"> - 地域におけるSociety5.0の推進 - 地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくり 	削除	国の総合戦略の改定により、旧総合戦略に関する内容を削除

主な変更箇所一覧

ページ	現行の総合戦略	改定案	改定の理由
3	新設	<p>○国「デジタル田園都市国家構想総合戦略」</p> <p>【基本的な考え方】</p> <p>1 テレワークの普及や地方移住への関心の高まりなど、社会情勢がこれまでとは大きく変化している中、今こそデジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。</p> <p>2 東京圏への過度な一極集中の是正や多極化を図り、地方に住み働きながら、都会に匹敵する情報やサービスを利用できるようにすることで、地方の社会課題を成長の原動力とし、地方から全国へとボトムアップの成長につなげていく。</p> <p>3 デジタル技術の活用は、その実証の段階から実装の段階に着実に移行しつつあり、デジタル実装に向けた各府省庁の施策の推進に加え、デジタル田園都市国家構想交付金の活用等により、各地域の優良事例の横展開を加速化。</p> <p>4 これまでの地方創生の取組も、全国で取り組まれてきた中で蓄積された成果や知見に基づき、改善を加えながら推進していくことが重要。</p>	<p>国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の内容を追加</p>
3	新設	<p>【施策の方向】</p> <p>(1) デジタルの力を活用した地方の社会課題解決・魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地方に仕事をつくる ②人の流れをつくる ③結婚・出産・子育ての希望をかなえる ④魅力的な地域をつくる <p>(2) デジタル実装の基礎条件整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ①デジタル基盤整備 ②デジタル人材の育成・確保 ③誰一人取り残されないための取組 	<p>国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の内容を追加</p>

主な変更箇所一覧

ページ	現行の総合戦略	改定案	改定の理由
4	<p>○県「清流の国ぎふ創生総合戦略」の枠組み</p> <p>【政策の方向性】</p> <p>1 「清流の国ぎふ」を支える人づくり</p> <p>人口減少社会における最大の課題である担い手の確保について、人口減少の進行を見据え、各分野における取組みをより効果的なものとするため、その最も基本となり、共通するテーマである、地域や社会で活躍する人を生み出す教育の充実と活躍できる社会づくりに取り組む。</p> <p>2 健やかで安らかな地域づくり</p> <p>ライフステージごとに求められるサービスを提供し続けること、困難な状況に陥りそうになった時、陥った時に求められる支援を提供し続けることが、行政機関である岐阜県の永劫不変の役割である。</p> <p>県民一人ひとり、あるいは地域によって異なり、また、時の流れとともに変化続けるニーズを的確に把握し、対策を取り続ける、たゆまぬ取組みを進めていく。</p> <p>3 地域にあふれる魅力と活力づくり</p> <p>人口減少が進行し、社会や経済が縮小していく中においては、岐阜県の魅力を打ち出し、活力を生み出していく取組みが一層求められる。幸いにして本県には豊かな自然と、その中で育まれた魅力的で特徴的な地域伝統文化、農林畜水産物などがあり、こうした資源を活かした活力づくりに取り組んでいく。</p> <p>また、県内産業の生産性の向上など「岐阜県成長・雇用戦略 2017」などに基づく取組みを着実に進めていく必要がある。</p>	<p>○県「清流の国ぎふ創生総合戦略」の枠組み</p> <p>【政策の方向性】</p> <p>1 「清流の国ぎふ」を支える人づくり</p> <p>人口減少・少子高齢化が進行する中、持続可能な「清流の国ぎふ」づくりを進める上では、その担い手となる「人づくり」が最重要課題である。</p> <p>このため、ふるさとに誇りと希望を持ち、未来を自ら創り上げ、地域や社会で活躍する人を育む教育を充実させるとともに、誰もが「清流の国ぎふ」を支える一員としてともに支えあい、活躍できる社会づくりに取り組む。</p> <p>2 健やかで安らかな地域づくり</p> <p>世の中が大きく変化、複雑化する中であっても、ライフステージごとに求められるサービスや、困難な状況に陥りそうになった時、陥ったときに求められる支援を提供し続け、安心して子どもを産み育て、働き、健康で豊かに暮らせる地域づくりに取り組むことが行政機関である岐阜県の永劫不変の役割である。</p> <p>県民の一人ひとり、あるいは地域によって異なり、また、時の流れとともに変化し続けるニーズを的確に把握し、対策を取り続ける、たゆまぬ取組みを進めていく。</p> <p>3 地域にあふれる魅力と活力づくり</p> <p>人口減少が進行し、社会や経済が縮小していく中においては、岐阜県の魅力を打ち出すことで、地域の活力を生み出していく取組みが一層求められる。</p> <p>「『清流の国ぎふ』文化祭2024」など、全国規模の行事の開催を契機に、本件の豊かな自然環境や、その中で育まれた伝統文化、伝統工芸、農林畜水産物といった持続可能な地域資源の魅力を発信し、これらを最大限に活かした活力づくりに取り組む。</p> <p>また、DXの推進、脱炭素社会の実現、サステイナブル・ツーリズムの推進など、アフター・コロナを見据えた取組みを着実に進めていく。</p>	<p>県の総合戦略の改定に伴い内容を修正</p>

主な変更箇所一覧

ページ	現行の総合戦略	改定案	改定の理由
2 施策体系			
7	こうした考え方のもと、本市においては、第1期総合戦略に引き続いて、人口ビジョン「3. 人口の将来展望」の「イ. 目指すべき将来の方向性」において示した人口減少に歯止めをかけ、地方創生を進めていく上で重要となる取り組みを3つの戦略目標とし、第1期総合戦略で定めた体系を基礎としつつ、 <u>新たな視点も加えた多様な施策、事業を展開する。</u>	こうした考え方のもと、本市においては、第1期総合戦略に引き続いて、人口ビジョン「3. 人口の将来展望」の「イ. 目指すべき将来の方向性」において示した人口減少に歯止めをかけ、地方創生を進めていく上で重要となる取り組みを3つの戦略目標とし、第1期総合戦略で定めた体系を基礎としつつ、 <u>新たにデジタルの力の活用も意識して、多様な施策、事業を展開する。</u>	国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を勘案して追加
3 推進・検証			
8	Plan：計画 外部有識者等が参加する審議会や市民意識調査など、多様な市民の関わりにより作成された総合計画をベースに、人口減少対策、地方創生といった総合戦略の趣旨に沿って施策の方向性を設定する。	①Plan：計画 外部有識者等が参画する審議会や市民意識調査など、多様な市民の関わりにより作成された総合計画をベースに、人口減少対策、地方創生といった総合戦略の趣旨を踏まえるとともに、 <u>デジタルの力の活用を意識して、</u> 施策の方向性を設定する。	国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を勘案して追加
8	Check：点検・評価 隔年で実施する市民意識調査や各種統計データ等の社会指標の推移をもとに、重点事業や各施策において設定されたKPIの進捗状況の把握と分析を行う。 <u>産業界・関係行政機関・教育機関・金融機関・労働団体・メディア（産官学金労言）の外部有識者等が参画する組織によって点検・評価の妥当性・客観性を検証する。</u>	③Check：点検・評価 市民満足度調査や各種統計データ等の社会指標の推移をもとに、重点事業や各施策において設定されたKPIの進捗状況の把握と分析を行う。 <u>また、産業・行政・教育・金融・労働・メディア・デジタルの各分野の有識者等が参画する「しあわせ実感かかみがはら地方創生懇話会」において、進捗状況・効果に関する意見を聴取する。</u>	しあわせ実感かかみがはら地方創生懇話会の内容に変更

戦略目標①

いきいきと働ける「しごと」づくり<産業・雇用>

主な変更箇所一覧

ページ	現行の総合戦略	改定案	改定の理由	担当部署	該当事業
施策の柱 1. 産業					
(1) 工業の振興					
10	◎ものづくりの高度化 ・ものづくり産業をさらに強化するために、市内企業が技術力の高度化や販路開拓・拡大を図るための支援や事業環境を整備する。	◎ものづくりの高度化 ・ものづくり産業をさらに強化するために、市内企業が技術力の高度化や販路開拓・拡大、 デジタル技術を導入する ための支援や事業環境を整備する。	デジタル要素の追加	産業政策課	中小企業DX推進事業
(2) 商業等の振興					
11	◎持続的農業の推進 ・J A ぎふ等の関係機関との連携を強化し、 機械化やIoTの活用 などによる生産性の向上や安全で安心な農産物の生産を促す。	◎持続的農業の推進 ・J A ぎふ等の関係機関との連携を強化し、 スマート農業の推進 などによる生産性の向上や安全で安心な農産物の生産を促す。	デジタル要素の追加	農政課	スマート農業技術導入支援事業
11	新設	○注釈 ※スマート農業：ロボットや情報通信技術を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現するなどを推進している新たな農業のこと	デジタル要素の追加	農政課	
施策の柱 3. 人材育成					
(1) 多様な人材の育成					
13	新設	・AIやRPA等の業務改善ツールの導入や、自動化・省人化に向けた設備投資など、デジタル技術を効果的に活用していくためのデジタル人材を育成する必要がある。	デジタル要素の追加	産業政策課	
13	新設	◎多様な人材の育成 ・社内のデジタル人材育成のための研修費用の一部補助など、補助制度を通じてデジタル技術の活用やデジタル人材育成を支援する。	デジタル要素の追加	産業政策課	中小企業DX推進事業
13	新設	»重要業績評価指標（KPI） ■ デジタル人材の育成に関する研修の市内受講者の延べ人数（年間）80人（R4：74人）	デジタル要素の追加	産業政策課	中小企業DX推進事業

戦略目標②

かかみがはらを支える「ひと」づくり<子育て・教育>

主な変更箇所一覧

通番	現行の総合戦略	改定案	改定の理由	担当部署	該当事業
施策の柱1. 結婚・妊娠・出産					
(1) 結婚への支援					
16	新設	◎結婚等に関する支援の推進 ・関市、美濃加茂市との3市広域連携により、マッチングアプリを活用し、結婚を希望する独身男女の出逢いの機会を創出する。	デジタル要素の追加	企画政策課	ペアーズとの連携協定
(2) 母子保健の充実					
16	◎母子保健の充実 ・誰もが安心して妊娠・出産・子育てを行えるよう、不妊治療費や妊婦健康診査、産後健診などに対する助成を行うとともに、助産師会等と連携し妊娠期の教室や新生児訪問を実施するなど、相談・支援の強化に努める。	◎母子保健の充実 ・誰もが安心して妊娠・出産・子育てを行えるよう、 不妊治療費 や妊婦健康診査、産後健診などに対する助成を行うとともに、助産師会等と連携し妊娠期の教室や新生児訪問を実施するなど、相談・支援の強化に努める。	不妊治療費に関する助成制度終了により削除	健康管理課	
16	新設	◎母子保健の充実 ・母子健康手帳の電子化など、母子保健のDX化の推進に取り組み、保護者の負担軽減や利便性の向上に努める。	デジタル要素の追加	健康管理課	母子保健DX推進事業
施策の柱2. 子育て					
(1) 子育て家庭を支える環境づくり					
18	新設	◎乳幼児保育・教育の充実 ・ICTの活用により、乳幼児の安全確保や保護者の利便性向上、保育士の業務効率化を図る。	デジタル要素の追加	子育て応援課	保育所業務効率化推進事業
施策の柱3. 教育					
(1) 「たくましく生き抜く力」の育成					
21	◎学校教育の充実 情報化やグローバル化に対応するため、 <u>ICT機器を効果的に活用した教育</u> や英語教育の充実を図る。	◎学校教育の充実 ・「 <u>GIGAスクール構想</u> 」に基づき整備した、 1人1台端末と高速大容量の通信ネットワーク環境の活用により、すべての児童生徒に、主体的、対話的で深い学びを提供する。 また、 <u>グローバル化への対応のため、英語教育の充実</u> を図る。	デジタル要素の追加	教育総務課	学校ICT推進事業 (GIGAスクール事業)
(2) 安心して学べる教育環境づくり					
22	新設	◎教育センターの充実 ・ICT利活用の知識や経験を持つ指導講師を配置し、学校現場における研修や指導を行うなど、教職員が効果的にICTを活用した教育活動を行える環境を整備する。	デジタル要素の追加	教育センター	教育センターICT専門指導講師

戦略目標③

魅力と安心の「まち」づくり<魅力向上>

変更箇所一覧

通番	現行の総合戦略	改定案	改定の理由	担当部署	該当事業
施策の柱 1. 発信・誘客					
(1) シティプロモーション・移住定住の推進					
25	新設	・ SNS の利用拡大により、情報伝達手段が多様化しており、新たな情報発信の展開や強化が重要である。	デジタル要素の追加	広報課	
25	新設	◎シティプロモーションの推進 ・ ウェブサイトや SNS を活用した効果的な情報発信の充実を図る。	デジタル要素の追加	広報課	市公式ウェブサイト運営事業
施策の柱 2. 定住					
(1) 市民協働によるまちづくりの推進					
28	◎コミュニティ活動への支援 ・ 自治会の持続的な活動に向け、自治会同士や各種団体との連携促進のほか、自治会加入の促進や自治会長の負担軽減に向けた取り組みを行う。	◎コミュニティ活動への支援 ・ 自治会の持続的な活動に向け、自治会同士や各種団体との連携促進を <u>図るとともに、担い手不足の解消や負担軽減を図るため、自治会活動のデジタル化を推進する。</u>	デジタル要素の追加	まちづくり推進課	
(2) 文化芸術・スポーツ活動の充実					
30	新設	◎歴史・文化遺産の保護と利活用 ・ 市ウェブサイト上で市内の文化財や歴史資料を閲覧できる「ミュージアム at HOME」の充実により、自宅等から気軽に歴史や文化に触れることができる環境の整備を推進する。	デジタル要素の追加	文化財課	ミュージアム at HOME
(3) 安全・安心なまちづくり					
31	新設	・ 犯罪が起こりにくい環境づくりを進めるため、地域の防犯活動団体の支援や、通学路などにおける子どもを狙った犯罪の発生を未然に防ぐための対策に取り組む。	「安全・安心なまちづくり」に関して、防犯に関する記載を追加	まちづくり推進課	
32	新設	◎防犯活動の推進 ・ 自治会による防犯カメラの設置への補助など、地域による自主的な防犯活動を支援する。	「安全・安心なまちづくり」に関して、防犯に関する記載を追加	まちづくり推進課	自治会防犯カメラ設置補助事業
32	新設	◎防犯活動の推進 ・ 通学路の安全強化のために、「通学路見守り隊」や「子ども110番の家」といった地域ボランティアの活動や防犯カメラの設置など、犯罪を抑制するための取組を推進する。	「安全・安心なまちづくり」に関して、防犯に関する記載を追加	教育委員会総務課	通学路防犯カメラ設置事業

戦略目標③

魅力と安心の「まち」づくり<魅力向上>

変更箇所一覧

通番	現行の総合戦略	改定案	改定の理由	担当部署	該当事業
(4) 良好な生活環境の整備					
33	・本市の将来像を見据えた公共交通のあり方を整理するとともに、鉄道、路線バス、ふれあいバス等が連携した公共交通ネットワークを形成し、その維持や活性化に向け、地域住民、交通事業者、行政が一体となった取り組みを戦略的に進めていくことが必要である。	・本市の将来像を見据えた公共交通のあり方を整理するとともに、鉄道、路線バス、ふれあいバス、 チョイソコかかみがはら 等が連携した公共交通ネットワークを形成し、その維持や活性化に向け、地域住民、交通事業者、行政が一体となった取り組みを戦略的に進めていくことが必要である。	デジタル要素の追加	商工振興課	ふれあいバス、チョイソコかかみがはら運行事業
33	◎公共交通ネットワークの形成 ・鉄道、路線バス、ふれあいバスなど各路線の役割と提供すべきサービスを明確にするとともに、鉄道を軸に、路線バスやふれあいバスなど、多様な交通サービスが相互に連携した一体的な公共交通ネットワークを形成し、その維持や活性化に取り組む。	◎公共交通ネットワークの形成 ・鉄道、路線バス、ふれあいバス、 チョイソコかかみがはら など各路線の役割と提供すべきサービスを明確にするとともに、鉄道を軸に、路線バスやふれあいバスなど、多様な交通サービスが相互に連携した一体的な公共交通ネットワークを形成し、その維持や活性化に取り組む。	デジタル要素の追加	商工振興課	ふれあいバス、チョイソコかかみがはら運行事業
34	新設	◎生涯学習・文化・スポーツ施設整備の推進 ・「いつでも、だれでも、どこでも」利用できる「電子図書館」の利用促進に努める。	デジタル要素の追加	中央図書館	電子図書館運営事業
34	»重要業績評価指標（KPI） ■ ふれあいバス・ふれあいタクシーの年間利用者数 20万人維持	»重要業績評価指標（KPI） ■ ふれあいバス・ チョイソコかかみがはら の年間利用者数 20万人維持	ふれあいタクシーのチョイソコかかみがはらへの移行により修正	商工振興課	ふれあいバス、チョイソコかかみがはら運行事業
34	○注釈 ※ふれあいタクシー：平成27年より導入した市内一部地区を運行するデマンド（予約に応じて運行する）タクシー	○注釈 ※チョイソコかかみがはら：事前の会員登録と予約で利用できる乗合型タクシー。AIを活用した配車システムにより、距離や道路事情にあわせて運行時間を調整し、きめ細かく配置した停留所間を非固定ダイヤで、効率的に運行する運送サービス	ふれあいタクシーのチョイソコかかみがはらへの移行により修正	商工振興課	

戦略目標③

魅力と安心の「まち」づくり<魅力向上>

変更箇所一覧

通番	現行の総合戦略	改定案	改定の理由	担当部署	該当事業
(5) 持続可能なまちづくり					
35	新設	・行政サービスのデジタル基盤を整備し、場所や時間にとられない行政手続のオンライン化や、マイナンバーカードを活用した行政サービスの拡充が重要となる	デジタル要素の追加	情報推進課	
35	◎健康づくり活動への支援 ・誰もがいつまでも元気に活躍できる社会の実現に向け、地域住民や関係機関と連携し、フレイル予防を推進する。	◎健康づくり活動への支援 ・誰もがいつまでも元気に活躍できる社会の実現に向け、地域住民や関係機関と連携するとともに、ICTの活用などを通して、フレイル予防を推進する。	デジタル要素の追加	高齢福祉課	フレイル予防事業
36	新設	◎行政のDXの推進 ・単純・反復作業へのAI-OCR・RPAの導入を推進するとともに、新たな業務改善ツールの導入等により更なる業務の効率化に努める。	デジタル要素の追加	情報推進課	
36	新設	◎行政のDXの推進 ・市役所に行かなくても完結できる行政手続の拡大のため、マイナンバーカードやデジタルツール等の活用を推進する。	デジタル要素の追加	情報推進課	
36	新設	◎行政のDXの推進 ・市役所の窓口や市内の公共施設で、クレジットカード、電子マネー、二次元バーコード決済等のキャッシュレス決済サービスを導入し、市役所来庁者や公共施設利用者の利便性の向上に努める。	デジタル要素の追加	企画政策課	
36	新設	◎行政のDXの推進 ・ドローンの操縦者の育成や活用機会の拡大に努める。	デジタル要素の追加	企画政策課	
36	新設	◎行政のDXの推進 ・市が保有する公共データのオープンデータ化に努め、その利活用を促進する。	デジタル要素の追加	企画政策課	
36	新設	◎行政のDXの推進 ・公共施設への公衆無線LANの整備について、試行による効果検証を行う。	デジタル要素の追加	企画政策課	
36	新設	»重要業績評価指標（KPI） ■ オンライン申請可能な手続数 90手続（R4：72手続）	デジタル要素の追加	情報推進課	
36	新設	○注釈 ※オープンデータ：インターネットなどを通じて、誰でも自由に入手・利用・加工・再配布できるデータ	デジタル要素の追加	企画政策課	